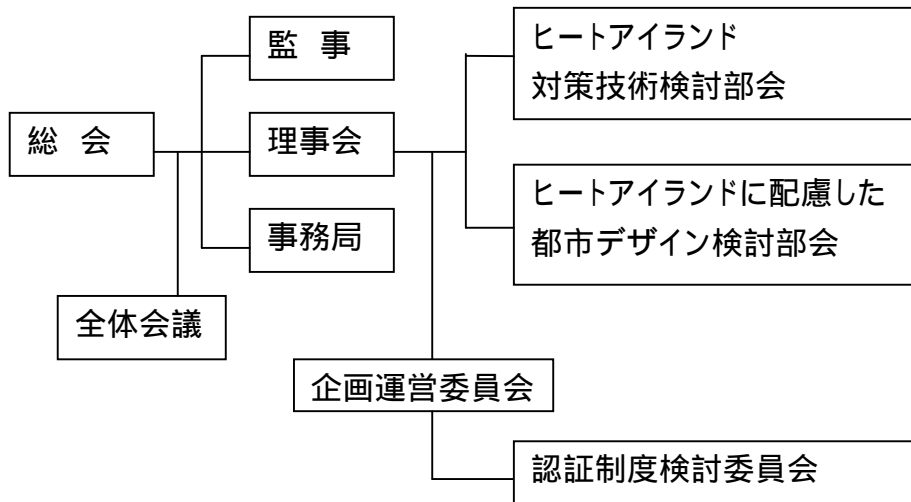


平成20年度事業報告について

1. 組織



2. 役員構成(平成21年4月1日時点)

理事長 水野 稔(大阪大学名誉教授)

副理事長 野邑 奉弘(大阪市立大学名誉教授)

理事 森山 正和(神戸大学教授)

池上 俊郎(NPO 法人エコデザインネットワーク理事長)

平山 孝信(前社団法人関西経済連合会地球環境・Iベルキ-委員会WG主査)

松本 清一(大阪ガス株式会社環境部長)

監事 田川 静一(大阪府環境農林水産部みどり・都市環境室長)

高木 亨(前大阪市環境局企画部長)

3. 活動実績

(1) 総会・理事会等の開催

企画運営委員会(平成20年5月8日)、理事会(同6月11日)、総会(同6月11日)を開催し、理事会及び総会では、平成19年度事業報告、同収支決算、平成20年度事業計画・予算計画、理事の再任、会則の変更について議論し、承認を得た。

また、企画運営委員会(平成20年11月17日)を開催し、検討部会の進捗状況及び認証制度検討委員会の中間報告などについて議論した。

(2) 啓発セミナー等の開催

ヒートアイランド対策技術に関する公開セミナーを開催した。

公開セミナー(平成20年6月11日)

< 内容 >

テーマ:『自然水系、人工水系への人工排熱処理・回収』

講師:中尾正喜(大阪市立大学教授)

< 熱有効活用・人工排熱低減WG主査 >

テーマ:『植物の水・熱・CO₂交換機能と緑化の効用』

講師:北宅善昭(大阪府立大学教授)

< クールスポット創造技術手法WG主査 >

< 参加者 >

100名

公開セミナー(平成20年11月28日)「NEW EARTH 2008 専門セミナー」

< 内容 >

テーマ:『ヒートアイランド現象の緩和に向けて～大阪HITECの挑戦～』

講師:水野 稔(大阪大学名誉教授) < 大阪HITEC理事長 >

テーマ:『大阪府におけるヒートアイランド対策』

講師:笠松正広(大阪府環境農林水産部 みどり・都市環境室 地球環境課長)

テーマ:『ヒートアイランド対策技術シーズの紹介』

講演者:7法人会員

< 参加者 >

120名

(3) 検討部会(ワーキンググループ)の開催

素材関連、熱有効活用・人工排熱低減、クールスポット創造技術手法、熱負荷評価手法、都市デザインの各ワーキンググループを開催し、ヒートアイランド対策技術の評価・普及等について検討した。

【素材関連WG】

高反射率塗装の評価シートの完成のため、反射率の経年劣化について情報交換を行うとともに、保水性舗装・ブロックの評価シートを検討し、その素案について意見交換を行った。

第 11 回会合:平成 20 年 7 月 1 日

< 内容 >

情報提供(平成 20 年度WG事業計画等)
高反射率塗装に関する各国の動向について
保水性舗装・ブロックの評価について
大阪府のモデル事業の効果検証結果等について

第 12 回会合:平成 20 年 10 月 30 日

< 内容 >

情報提供
a)「認証制度検討委員会」の進捗状況、b)第2回ヒートアイランド国際会議の案内、
c)JISにおける塗膜の日射反射率の求め方(出荷時の測定法)の制定(9月20日)
について
ドーンセンター屋上の高反射率塗装の施工2年後の反射率測定結果について
ヒートアイランド対策の導入による省エネルギー効果等の検討について

第 13 回会合:平成 21 年 1 月 15 日

< 内容 >

情報提供
a)「熱負荷評価手法WG」の進捗状況、b)「認証制度検討委員会」の進捗状況につ
いて
熱負荷評価手法WGへのDB作成に関する回答について
保水性舗装サブWGの設置について
高反射率舗装の改訂版評価シートについて

【熱有効活用・人工排熱低減WG】

WGで取り組む新たなテーマについて協議し、大阪府・大阪市の港湾部局の参加を得て「海水への人工排熱処理サブWG」を立ち上げ、活動をスタートした。

(第1回 平成 21 年 2 月 16 日 テーマ「港湾内における夏期底層低温水の利用」)

第2回 平成 21 年 3 月 30 日 テーマ「大阪湾の海域環境再生、底層貧酸素の解消」)

第 16 回会合:平成 20 年 11 月 5 日

< 内容 >

WGで取り組む新テーマについて
設備的対策技術情報データベースについて
ヒートアイランド対策の導入による省エネルギー効果等の検討について

【クールスポット創造技術手法WG】

屋上緑化で想定される低層の草木類植被を対象とした評価項目、および植被の蒸発散速度を簡易に測定する装置の開発を検討し、測定装置を試作した。また、水を活用し、道路を冷ます技術提案の募集を行い、3件の提案を受けた。

第9回会合:平成20年7月29日

<内容>

平成20年度WG事業計画について

測定装置の開発を含めた対策技術評価手法の共同研究について

認証制度検討委員会の発足、及び「ニューアース2008」への出展について

第10回会合:平成20年12月4日

<内容>

草本類の緑化技術に関する評価シートの検討について

簡易測定装置開発についての検討について

認証制度検討委員会中間報告への意見等について

情報提供(会員企業)

第11回会合:平成21年1月29日

<内容>

水を活用し道路を冷ます技術についてのサブWGの設置について

水を活用し道路を冷ます技術提案の募集について

簡易測定装置の開発状況について

情報提供(会員企業)

【熱負荷評価手法WG】

熱負荷の削減能により対策技術を評価する手法を確立するため、熱負荷計算方法等を検討し、熱負荷評価簡易モデルのプロトタイプを作成した。

第1回会合:平成20年9月10日

<内容>

WGの検討課題について

今後のスケジュールについて

第2回会合:平成20年11月5日

<内容>

熱負荷評価手法と熱負荷計算ツールの概要について

熱負荷計算の適用事例について

第3回会合:平成21年1月19日

<内容>

熱負荷削減データベースの作成について
熱負荷計算ツール開発の進捗状況と課題について
認証制度の在り方(中間報告)に対する意見について

第4回会合:平成21年3月26日

<内容>

今年度の成果について
熱負荷評価簡易モデルの内容について

【都市デザインWG】

ヒートアイランドに配慮したまちづくりのアイデアの提案を求めるコンペの実施に向け検討を行い、企画案と今後の進め方についてとりまとめた。

第6回会合:平成20年11月17日

<内容>

「まちづくり等のアイデアコンペの先行事例」について
「ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペ」について

第7回会合:平成21年1月22日

<内容>

「ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペ」について

第8回会合:平成21年3月19日

<内容>

講演「都市ヒートアイランドと温熱環境」
(青野靖之 大阪府立大学大学院准教授)
「ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペ」について
大阪府「将来ビジョン・大阪」関連の取組みについて

「ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペ」検討委員会の開催

第1回コンペ検討委員会:平成20年10月2日

<内容>

コンペ検討事項について討議
参考事例の検討

第2回コンペ検討委員会:平成20年10月21日

<内容>

WG会合(11/10)、企画運営委員会(11/17)に提出する募集要項案の検討
参考事例の検討

第3回コンペ検討委員会:平成20年11月20日

<内容>

企画運営委員会の意見の報告及びそれを踏まえた検討

(4) 認証制度検討委員会の開催

企画運営委員会の下に認証制度検討委員会を設置し、ヒートアイランド対策技術を客観的に評価する仕組みとして、認証制度の在り方を検討し、中間報告を行った。

第1回検討委員会:平成20年6月11日

<内容>

委員会の進め方について検討

第2回検討委員会:平成20年6月27日

<内容>

既存の評価制度等の整理、基本的考え方について検討

第3回検討委員会:平成20年7月29日

<内容>

認証制度の内容について検討

第4回検討委員会:平成20年8月25日

<内容>

認証制度の内容について検討

第5回検討委員会:平成20年11月13日

<内容>

中間報告(案)について検討・とりまとめ

第6回検討委員会:平成21年3月26日

<内容>

中間報告に対する意見、認証制度の制度設計について検討

(5) 部会活動等の周知

『NEW EARTH 2008(地球温暖化対策と環境ソリューション技術展および国際シンポジウム)』(平成20年11月26日～28日)』に大阪HITECとして初めて出展し、パネル展示とパンフレット配布等を通じて、本コンソーシアムのヒートアイランド対策への取組と法人会員(18法人)の技術シーズについてPRを実施した。

・会期中の全体入場者数	10,910人(実人数)
・会期中の本コンソーシアムのブースへの来場者数	868人(延人数)
・出展した各法人会員のパンフレット配布部数	40～350部
・大阪HITECパンフレット配布部数	400部

さらに、最終日の11月28日に「NEW EARTH 2008専門セミナー」として、『ヒートアイランド対策技術セミナー』(公開セミナー)を開催した。(再掲)

検討部会で検討された内容等について周知するため、ニュースレター『大阪HITEC NEWS Vol. 4』を平成21年2月14日に発行した。

(6) ホームページの拡充

本コンソーシアムの活動成果等について、独自ドメイン(<http://osakahitec.com>)を取得し、ホームページを拡充・更新した。

(7) 大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアムPR用リーフレットの配布

普及啓発及び検討部会への参画を促すため、随時リーフレットを配布し、PRを実施した。